

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	昭和46年度～		
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり
	小項目	施策	02 青少年教育(青少年健全育成活動の充実)
事務事業名	01	青少年健全育成事業	
根拠法令・例規等			備前市青少年育成センター設置条例 備前市補助金等交付規則
担当課(室)			生涯学習課生涯学習係
職・氏名			係長 波多野靖成
電話			0869-64-1841
このシート作成に要した時間			6.0 時間

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
		目標値(A)	1000	1000	1000
実績値(B)		867	889	868	到達目標値
達成率(B/A)		86.70%	88.90%	86.80%	850

成果指標設定の考え方・式や説明
 近年は、きめ細かな街頭指導や親身な対応する相談業務、青少年のための環境浄化活動を粘り強く継続してきたことが功を奏して、青少年の健全育成に関して成果が出てきている。しかし、こういった活動に取り組む過程において、子どもだけでなく家庭の教育力も高める必要があるという課題が浮き彫りになってきた。そこで、保護者を対象に青少年の健全育成を目的とした講演会及び懇談会等の参加者数を成果指標に設定し、会の内容の充実を図ることとした。

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	備前市内の20歳未満の青少年及びその保護者。
目的(何のために)	青少年の健全な育成を期する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	青少年の非行を未然に防止し、各種啓発活動により家庭・地域・学校が一体となって健全育成活動の充実を図る。

事業の目的、対象、内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
青少年健全育成推進本部補助事業	市民の総意を結集し、地区青少年健全育成会との連携を深め、県及び市の施策と呼応して次代を担う青少年の健全育成を図ることを目的に組織された備前市青少年健全育成推進本部の事業の補助を行う。		
青少年育成センター運営事業	備前市内の青少年の健全な育成を期するため、関係機関及び団体等との密接な連絡調整のもとに、青少年の非行を防止するとともに非行青少年の指導に努めることを目的に設置した青少年育成センター施設の管理運営		

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性の必要性	A
	市民ニーズ	
効率性の評価	コスト	B
	目的達成度	
有効性の評価	市民参画度	B

留意する必要があるが、その目的やその性質の値目標を達成することによる結果を指し示す

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	市民の青少年教育に対する関心を高め、取組に対して理解や協力がより得られるようにするためHPを活用した情報提供のあり方を探る。					

総合評価	
青少年の健全育成を図るためには、様々な環境の整備が必要である。単なる非行補導に留まらず、非行発生を予防するため青少年を地域で見守っていただくよう、今後も、各地域における団体と連携していく。	評価区分<A-E> B



事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	11,777	11,114	10,834
	必要人員(人件費)	人	0.50	0.51	0.37
	事業費計	千円	15,871	15,156	13,825
	国県支出金	千円	200	200	
	受益者負担	千円			
財源					
繰入金	千円				
その他()	千円				
一般財源	千円	15,671	14,956	13,825	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名	単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	平成23年度は、青少年健全育成推進本部の役員改選の年である。新体制でスムーズに活動できるよう準備し、新たなメンバーが新たな視点で今まで活動を見直しながら、改良していくことができるようにする。また、家庭の教育力向上に向けた取り組みの充実を図る。					

結果指標				
結果指標	単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
青少年の健全育成を目的とした講演会及び懇談会等の参加者数	人	867	889	868
結果指標達成率	%	102.5%	102.5%	97.6%
活動コスト	円	7,968,000	8,011,200	8,011,200
単位当たりコスト	円	9,190	9,011	9,229